

福井七子教授 略歴および主要研究業績



〈略 歴〉

1946年7月7日 大阪府生まれ

学 歴

- 1962年4月 大阪府立東淀川高等学校 入学
- 1965年3月 大阪府立東淀川高等学校 卒業
- 1965年4月 関西大学文学部仏蘭西文学科 入学
- 1969年3月 関西大学文学部仏蘭西文学科 卒業
- 1979年2月 シドニー大学文学部東洋学科 M.A. Qualifying course 編入
- 1980年4月 シドニー大学文学部東洋学科 M.A. Qualifying course 修了
- 1981年2月 シドニー大学文学部東洋学科 Ph. D 課程 編入
- 1982年4月 京都大学人文科学研究所研修員
- 1984年9月 シドニー大学文学部東洋学科 Ph. D 課程 退学
- 2009年9月 博士（文学）【関西大学】

職 歴

- 1985年4月 関西大学文学部専任講師
1988年4月 関西大学文学部助教授
1996年4月 関西大学文学部教授
2000年4月 関西大学外国語教育研究機構教授
2009年4月 関西大学外国語学部教授

〈主要研究業績〉

著 書

- 「MINYAKU YAKKAI」翻訳・単著 (1987年) 関西大学出版部 1-112
「さまよえる人 ルース・ベネディクト」(1993) 関西大学出版部 1-625
「日本人の行動パターン」共著 山折哲雄、ポーリン・ケント (1997) NHK 出版 1-172
“Background Research for The Chrysanthemum and Sword Dialectical Anthropology” 共著
Pauline Kent (1999) Kluwer Academic Publishers 173-180
“The Lady of the Chrysanthemum: Ruth Benedict and the Origins of the Chrysanthemum and
the Sword” 共著 (2004) The Johns Hopkins University Press
「太平洋問題調査会とその時代」共著 (2010) 春風社 119-159
「日本人の性格構造とプロパガンダ」単著 (2011) ミネルヴァ書房 1-263

学術論文

- “One Aspect of Nakae Chomin’s Process of Thought Expressed in Min’yaku-ron, Saku-ron, and
Min’yaku Yakkai” 単著 (1986) 関西大学文学論集 47-64
「国際交流と日本語教育」(1986) 関西大学一般教育センター『研究センター報』 37-42
『外国人による「部落問題」研究の一考察』共著 上田誉志美 (1991) 関西大学文学論集
129-153
「『エコー』に見る志賀重昂の日本論」(1992) 関西大学文学論集 73-92
“From “Japanese Behavior Patterns” to “The Chrysanthemum and the Sword”” (1994) 関西大
学文学論集 555-580
「留学生の外来語理解度—新聞を対象として外来語調査と分析—」(1995) 関西大学一般教育セ
ンター『研究センター報』 167-192
「『菊と刀』と『坊ちゃん』」(1996) 『This is 読売』読売新聞社 230-235
「『菊と刀』誕生の背景」(1996) 国際日本文化研究センター紀要 35-45
「ルース・ベネディクトの日本人論—ジェフリー・ゴラーの果たした役割」シンポジウム報
告書 (よみがえるルース・ベネディクト—紛争解決・文化・日中関係—) 研究シリーズ6

(2008) 龍谷大学アフラシア平和開発研究センター 35-51

「ルース・ベネディクト、ジェフリー・ゴラー、ヘレン・ミアーズの日本人論・日本文化論を
総括する」(2012) 外国語学部紀要第7号

翻 訳

ルース・ベネディクトによる「アポロ型」と「ディオニソス型」の概念についての一考察 (共著)
関西大学外国語学部紀要第11号 2014年10月 25-42ページ

翻訳を通して文化が規定するアブノーマルの概念を考える (共著) 関西大学外国語学部紀要第
12号 2015年3月 45-68ページ

フィールド・ワークの地からの書簡選集 (1924年～1934年) (共著) —翻訳を通して感じる
当時の知識人の声を聴くことのむずかしさ— 関西大学外国語学部紀要第13号 2015年
10月 51-105ページ

「ボアズの片腕としての歳月」に見るミードの想い (共著) 関西大学外国語学部紀要第14号
2016年3月 77-94ページ

人種偏見のメカニズム (共著) 関西大学外国語学部紀要第15号 2016年10月 77-97ページ

文献紹介

「クララ・デニスン・ルーミス女史が日米開戦直前に語った日本人論—それが日本研究にもたら
した影響—」(2010) 外国語学部紀要第2号 111-132

研究発表

「関西大学留学生の生活における現状について」(1994) 大阪商工会議所

「日本研究のルーツ『菊と刀』」(1995) 国際日本文化研究センター

“Background Research Undertaken for “The Chrysanthemum and the Sword”” (1996年) 米国
ネブラスカ大学『菊と刀』誕生50周年記念国際フォーラム

「ルース・ベネディクトが遺したもの」(1996) 新潟県長岡市特別文化講演会

「ルース・ベネディクト研究をめぐって」(1997) 立命館大学言語文化研究所

「『菊と刀』の著者ルース・ベネディクトからのメッセージ」(1999) 市整会研修会

テーマ『日本・日本人を探るIV』『『日本人の行動パターン』を読む』(2003) 中央市民大学教
養講座

「日本人の精神構造の分析」をめぐって開催された1944年のIPR会議とその周辺事情 (2000)
早稲田大学アジア太平洋研究センター

「ルース・ベネディクトのメッセージ」(2001) NHK教育テレビ「視点・論点」

「1944年のIPR (ニューヨーク会議): ジェフリー・ゴラーの果たした役割」(2006) 早稲田

大学アジア太平洋研究センター

龍谷大学アフラシア平和開発研究センター主催シンポジウム「よみがえるルース・ベネディクト：紛争解決・文化・日中関係」(2008) コメンテーター

日本国際文化学会 シンポジウム「IPR ニューヨーク会議；参加メンバーと日本人論に関する議論」(2009)

「外国人による日本文化論—『菊と刀』の著者ルース・ベネディクトを中心に—」(2010) 関西大学 夏休み教員研修講座

『ジェフリー・ゴラーの「日本人の性格構造とプロパガンダ」を中心に』(2011) 20世紀メディア研究所：第61回研究会